

## 平成21・22年度『小学国語』学習指導計画作成資料《第6学年》

移行措置資料

この「年間学習指導計画」は、弊社の『小学国語』による新学習指導要領の内容をふまえた年間学習指導計画の作成にあたって、参考にしていただけるようまとめたものです。各地域・学校の実態にあわせてご活用いただければ幸いです。

### 凡例

#### 時数

国語については、移行措置期間中は標準授業時数の変更はありませんので、本資料での時数は現行の教育課程に基づくものを示しました。

複数の教材で構成されている単元では、単元全体の指導時数を示し、別に個々の教材の指導時数については括弧付き数字で表しています。

教材（単元）の目標

新学習指導要領で新設された指導事項を取り扱える教材については、その指導事項を を付して示しました。

〔新設された指導事項〕

＊話すこと・聞くこと

ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けること。

＊書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

＊読むこと

ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

＊伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

ア(ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。

ア(イ) 古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。

イ(ア) 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。  
イ(イ) 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。

イ(ウ) 文章の中の語句と語句との関係を理解すること。  
イ(ケ) 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

#### 主な学習活動

新学習指導要領に示された言語活動例を取り扱える教材については、その言語活動例を を付して示しています。

新たに活動を加えることができるものについては、太字で学習活動を示しています。

#### 評価規準例

各単元（教材）ごとに、学習目標をおおむね達成していると判断できる学習状況を示しました。評価の観点は、次のように略記しています。

【関】 国語への関心・意欲・態度

【話・聞】 話す・聞く能力

【書】 書く能力

【読】 読む能力

【言】 言語についての知識・理解・技能

『小学国語』年間学習指導計画 第六学年

月 教材(単元)名	4 一 学習のめあてをもとう	時	教材(単元)の目標	主な学習活動	評価規準例
4 一 学習のめあてをもとう	6	時	国語学習に対する興味や関心を高め、今後の学習への目標と意欲を持つ。	各教材の言語活動(「読む」「読み聞かせを聞く」「書く」「話し合う」)をし、一年間の国語学習のめあてを決める。	【関】自分なりの一年間の目標を書いている。 【話・聞】話の内容をとらえて、自分の感想を話している。 【話・聞】友達の感想を自分の感想と比べながら聞いている。 【書】自分の考えを、広い視野で考えてふくらませている。 【書】自分の意見をまとめて文章に書いている。
出発(詩)	(1)	時	心情が表されている表現を味わいながら読む。 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。 【読(1)ア】 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 【伝国イケ】	詩を読んで感じたことや思ったことが表れるように、声の調子など読み方をくふうして音読や朗読をする。 比喩や反復などの表現のくふうについて考える。	【読】情景を想像し、その情景が聞く人に伝わるように、音読や朗読をしている。 【読】比喩や反復などの表現のくふうについて気づいている。
南極のペンギン	(1)	時	語り手の思いをとらえながら読み聞かせを聞き、感想を話す。	読み聞かせを聞きながら、簡単なメモを取り、思ったことを自由に出し合う。 友達の感想を聞きながら、自分の考えをまとめる。	【読】情景を想像し、その情景が聞く人に伝わるように、音読や朗読をしている。
視野の広がり	(3)	時	視野を広げて考えたことを、文章に書く。	いろいろなものや場所とのつながりや、長い時間のなかでとらえて考えたことを、全体を見通して整理し、短い文章に書く。	【読】情景を想像し、その情景が聞く人に伝わるように、音読や朗読をしている。
自分のめあてを決めよう	(1)	時	自分の国語の力を確かめ、一年間の国語学習の構成を作る。	前の三つの教材の自己評価をし、巻頭折込「5年で学習したこと」を使って、今の自分の国語力を確かめる。 この一年間に学習したいことを話し合い、自分の目標を文章で書く。	【読】情景を想像し、その情景が聞く人に伝わるように、音読や朗読をしている。

5		
<p>二 すぐれた表現を味わおう</p>	<p>五年で習った漢字 1</p>	<p>うったえたいことを話そう</p>
8	1	4
<p>心情や場面などの表現を味わいながら物語を読む。</p>	<p>五年生で学習した漢字を使えるようにする。</p>	<p>聞く人に理解や共感を得られるように、話し方を工夫する。 話の意図をくみとりながら聞き、自分の考えの参考に する。 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けること。 <b>【話・聞(1)ア】</b></p>
<p>物語に描かれている情景や心情を読み取り、優れた描写を味わった後、他の物語を読み広げる。</p>	<p>「産業に関する言葉」を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。</p>	<p>学級・学校や社会に対して、日ごろから訴えてみたいことについて主題を決める。 三分間スピーチの構成を考えてスピーチメモを作ったり、提示する資料を準備したりする。 話す内容が聞く人にわかるように三分間スピーチをする。 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 <b>【話・聞(2)ア】</b></p>
<p><b>【読】</b>自分が思ったことや考えたことが表れ</p>	<p><b>【関】</b>漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。 <b>【言】</b>漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p><b>【関】</b>訴えたいことを見つけて話したり、友達の考えに質問や感想を話したりしている。 <b>【話・聞】</b>スピーチメモを作り、考えを三分間にまとめて話している。 <b>【話・聞】</b>メモを取りながらスピーチを聞き、話の意図を理解している。</p>

○じいさんのチ  
エロ（物語）

(6)

場面の情景や人物の行動・  
心情を表す言葉や表現に着  
目して、人物の心の変化を  
読み取る。

物語の内容を読み味わう。  
自分の思いや考えが伝わる  
ように音読や朗読をするこ  
と。【読(1)ア】

本や文章を読んで考えたこ  
とを発表し合い、自分の考  
えを広げたり深めたりする  
こと。【読(1)オ】

文章の中の語句と語句と  
の関係を理解すること。

【伝国イ(オ)】

比喻や反復などの表現の工  
夫に気付くこと。

【伝国イ(ケ)】

物語を読んで考えたことや思ったことが  
伝わるように音読や朗読をする。

登場人物の関係や気持ちの変化を読み取  
り、ノートにまとめ、話し合う。

優れた叙述を味わい、自分の考えをまとめ  
る。

登場人物（わたし）の言いたいことや自分  
の考えをノートに書いて話し合う。

るように音読や朗読をしている。

【読】「わたし」の気持ちや態度の変化や、「○  
じいさん」の人がらを叙述からとらえ、ノ  
ートにまとめている。

【読】優れた表現や主題について、自分の考  
えをまとめている。

【読】物語を読んで考えたことを話し合っ  
ている。

【読】空想物語に興味を持ち、複数の本を探  
して比べながら読んでいる。

<p>仮名の成り立ち</p>	<p>ファックスやメールを利用しよう</p>	<p>冬きたりなば(物語)</p>
<p>1</p>	<p>3</p>	<p>(2)</p>
<p>片仮名と平仮名の成り立ちを知り、仮名の由来、特質について関心を持つ。</p>	<p>相手や目的に応じ、ファックスやメールなどの適切な方法を選んで、用件を伝える。</p> <p>話し言葉と書き言葉の違いに気付くこと。</p> <p>伝国イ(ア)</p>	<p>空想的な作品のおもしろさを味わい、読書への意欲を高める。</p> <p>自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。</p> <p>読(1)ア</p> <p>本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>読(1)オ</p> <p>文章の中で語句と語句との関係を理解すること。</p> <p>伝国イ(オ)</p> <p>比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。</p> <p>伝国イ(ケ)</p>
<p>漢字と片仮名、平仮名の由来をまとめる。万葉仮名と片仮名、平仮名の関係を考え、仮名の果たす役割を話し合う。</p>	<p>郵便・電話・ファックスやメールなどを使う場面や相手について話し合う。</p> <p>ファックスやメールを利用するときに留意することやマナーを知る。</p> <p>話し言葉と書き言葉の違いについて考える。</p>	<p>「冬きたりなば」を読み、空想的な作品のおもしろさについて話し合う。</p> <p>ほかの空想的な作品を探して、比べながら読む。</p> <p>本を読んで推薦の文章を書くこと。</p> <p>読(2)エ</p>
<p>【関】教科書の図から仮名の成り立ちに興味を持っている。</p> <p>【言】仮名の成り立ちやできた理由・必要性を理解している。</p>	<p>【関】ファックスやメールに関心を持ち、マナーを守って利用しようとしている。</p> <p>【書】ファックスやメールの使い方や書式を理解している。</p> <p>【書】場面や相手に合わせて、適切な方法を選んで、用件を伝えている。</p> <p>【言】話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。</p>	

<p>五年で習った漢字 2</p>	<p>6 三 目的や意図に応じて表現をくふうして書くこと</p> <p>新聞の研究（調査・報告）</p>	<p>1</p>	<p>10</p>
<p>五年生で学習した漢字を使えるようにする。</p>	<p>目的や意図に応じ、構成や表現をくふうして文章を書く。</p> <p>問題意識を持って調べたことを整理して、自分の考えが明確に伝わるように、文章の構成や表現をくふうして書く。</p> <p>引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。<b>書(1)工</b></p> <p>書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。<b>書(1)力</b></p> <p>話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。<b>伝国イ(ア)</b></p>	<p>「自然」に関する言葉を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。</p>	<p>研究したことを整理してまとめ、わかったことや考えたことが読み手に伝わるように、構想を練り、表現をくふうして書く。</p> <p>いろいろな新聞を集め、紙面のなかから研究したいことを話し合って決める。</p> <p>材料を集めて、整理・分析し、わかったことをまとめる。</p> <p>効果的な報告文の文章構成を考えて、表現をくふうして文章を書く。</p> <p>グラフなどを効果的に用いながら文章を書く。</p> <p>よりよい表現になるように見直す。</p> <p>各自の書いた報告を読み合い、研究の成果について話し合う。</p> <p>各自の報告をとりまき報告集を作る。</p> <p>自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。<b>書(2)イ</b></p> <p>編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。<b>読(2)ウ</b></p>
<p>【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。</p> <p>【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>【関】調査・研究したことを報告文にまとめることに意欲を持っている。</p> <p>【関】友達の報告文に興味・関心を持ち、まぢがいや良い表現を見つけようとしている。</p> <p>【書】書くために必要な材料を集めている。</p> <p>【書】構想メモの例を参考にして、報告文の構想を考え、組み立てメモを作成している。</p> <p>【書】組み立てメモをもとに、事実と考えを区別して報告文を書いている。</p> <p>【書】わかりやすくするために、引用したり、図表やグラフを用いて書いている。</p> <p>【書】報告文を読み、まぢがいに気づいたり、わかりやすい表現に直したりしている。</p> <p>【書】書いた報告文を発表し合っている。</p> <p>【読】新聞の紙面について、編集のしかたや記事の書き方に着目して読んでいく。</p>		

<p>漢字 3</p> <p>五年で習った</p>	<p>推論によつて説明しよう</p>	<p>漢字のジグソーパズル</p>
<p>1</p>	<p>4</p>	<p>2</p>
<p>五年生で学習した漢字を使えるようにする。</p>	<p>事実をもとに推論し、自分の考えを説明する方法を知る。</p> <p>興味や関心のあることについて、事実をもとに自分なりに推論することに慣れる。</p> <p>考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けること。【話・聞(1)ア】</p> <p>引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。【書(1)エ】</p> <p>書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。【書(1)カ】</p> <p>話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。</p> <p>【伝国イ(ア)】</p>	<p>ジグソーパズルで遊びながら、楽しんで漢字を習得する。</p>
<p>「仕事や社会」に関する言葉を集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。</p>	<p>作文例を読み、事実をもとに、どのように推論を進めているかを話し合う。</p> <p>生活のなかから事実をもとに推論したことを、話したり書いたりする。</p> <p>発表し合ったり、書いたものを読み合ったりして、説明のしかたについて話し合う。</p>	<p>これまで学習した漢字から、いろいろなテーマを決め、パズルを作る。</p> <p>ジグソーパズル遊びをしながら、漢和辞典の使い方に慣れる。</p>
<p>【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。</p> <p>【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>【関】身の回りの体験などから推論したことを、積極的に話そうとしている。</p> <p>【話・聞】事実と推論とを明確に分けて構想メモを書いている。</p> <p>【話・聞】構想メモに基づいて、推論したことを話している。</p> <p>【書】事実と推論とを明確に分けて構想メモを書いている。</p> <p>【書】構想メモに基づいて、推論したことを書いている。</p> <p>【書】お互いに発表し合い、説明のしかたについて話し合っている。</p>	<p>【関】漢字のジグソーパズル作りを楽しんでいる。</p> <p>【言】「木」「糸」「金」など、既習の部首の漢字を集めて、パズルを作っている</p> <p>【言】熟語の組み立てを考えて、パズルを作っている。</p>

<p>7</p> <p>四 筆者の考えの述べ方に着目して読もう</p> <p>川の自然（説明文）</p>	<p>7</p>
<p>筆者の考えの述べ方に着目しながら説明文や記録文を読む。</p> <p>筆者の考えの進め方に従い、事実と意見の関係を押さえ、要旨を読み取る。筆者の述べ方のくふうに着目して読み取る。</p> <p>自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。</p> <p><b>【読(1)ア】</b> 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p><b>【読(1)オ】</b> 文章の中で語句と語句との関係を理解すること。</p> <p><b>【伝国イ(オ)】</b> 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。</p> <p><b>【伝国イ(ケ)】</b></p>	<p>筆者の考えの進め方に従い、事実と意見の関係を押さえ、要旨を読み取る。筆者の述べ方のくふうに着目して読み取る。</p> <p>自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。</p> <p><b>【読(1)ア】</b> 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p><b>【読(1)オ】</b> 文章の中で語句と語句との関係を理解すること。</p> <p><b>【伝国イ(オ)】</b> 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。</p> <p><b>【伝国イ(ケ)】</b></p>
<p>【関】内容に興味を持って読もうとしている。</p> <p>【読】瀬と淵の説明、治水事業の事例と、それに基ついた意見とを区別し、その関連を考えている。</p> <p>【読】筆者の考えについての感想をノートに書いている。</p> <p>【読】段落ごとに中心語句を押さえて、筆者の考えをまとめている。</p> <p>【読】インタビュー内容の中心を押さえ、質問に対する答えをまとめている。</p> <p>【読】「川の自然」を読んで、思ったことや考えたことを発表し合い、考えを深めている。</p> <p>【読】環境に関する本やインタビュー形式の本を複数探して、比べながら読んでいる。</p>	<p>7</p>

敬語	インタビュアー 地球環境を考 える
2	(2)
<p>敬語のいろいろな使い方を理解して、日常よく使われる敬語に慣れる。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。 <b>伝国イ(イ)</b></p>	<p>質問に対する答えの大事な内容をつかみ、インタビュアーのしかたを知る。 いろいろな記録の文章に関心を持ち、読書意欲を高める。 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。 <b>読(1)ア</b> 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。 <b>読(1)オ</b> 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 <b>伝国イ(ア)</b> 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。 <b>伝国イ(ケ)</b></p>
<p>敬語には、ていねいな言い方、尊敬の言い方、謙譲の言い方などがあり、それぞれはたらきが違うことを知る。 場面を設定して、実際に敬語を使った表現をする。</p>	<p>インタビュアーの記録を読んで、それぞれの質問に対する答えをまとめる。 インタビュアーのしかたについて、大事なことをまとめる。 複数の記録の本を見つけて読書をし、比べながらいろいろなことを考える。 本を読んで推薦の文章を書くこと。 <b>読(2)エ</b></p>
<p>【関】敬語の使い方について興味を持って、学習を進めている。 【言】敬語のはたらきをノートにまとめて書いている。 【言】想定された場面において、普通の言い方を敬語を使った言い方に直している。 【言】世代による言葉の違いに気づき、自分と相手との関係を意識して、適切な言葉づかいをしようとしている。</p>	

<p>本の世界で学ぼう</p>	<p>2</p>	<p>自分の読書傾向を振り返り、自分の課題を決めて読書計画を立てる。</p>	<p>読書記録をもとに自分の読書傾向を振り返り、友達と比べて話し合う。 今後の読書で心がけたいことを考え、読書計画を立て、読書の範囲を広げる。 いろいろな図書館があることを知る。</p>	<p>【関】自分の読書経験を振り返り、いろいろな図書資料を見つけようとしている。 【読】本の分類法や索引などを使い、自分で本を検索している。 【読】読書計画をもとに、複数の本を比べながら読もうとしている。</p>
<p>短歌と俳句</p>	<p>3</p>	<p>短歌や俳句の表現形式に関心を持ち、情景や作者の思いの描写を読み味わう。 声に出して読み、文語の調子に親しむ。 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。 伝国ア(ア) 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。 伝国イ(イ)</p>	<p>簡潔・的確な言葉で表現されている短歌と俳句の特徴を理解する。 声に出して繰り返し読み、内容の大体を知り、文語の独特なリズムや響きを味わう。 時間の経過による言葉の変化について考える。</p>	<p>【関】短歌や俳句の表現形式に興味を持って読んでいる。 【言】繰り返し音読をして、内容の大体をとらえている。 【言】表現やリズム、文語の調子を声に出して味わっている。 【言】古典の言葉と現代の言葉の違いに気づいている。</p>
<p>みんなの詩</p>	<p>3</p>	<p>広い視野、鋭い見方や感じ方でとらえたことを、心と言葉を響き合わせて、詩や俳句に表す。 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。 書(1)カ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 伝国イ(ケ)</p>	<p>詩や俳句を読み、鋭い見方や感じ方を見つけて話し合う。 自分なりのものの見方や感じ方が表れるように、表現をくふうして詩や俳句を作る。 比喩や反復などの表現を効果的に使って書く。 作った詩や俳句を発表して感想を話し合ったり、助言し合ったりする。 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること。 書(2)ア</p>	<p>【関】自ら進んで、詩や俳句を書こうとしている。 【書】自分なりのものの見方・感じ方が詩や俳句に表れている。 【書】書いたものを発表し合い、表現のしかたについて、助言し合っている。 【言】比喩や反復などの表現の効果について気づいている。</p>

10			五 話し合って新しい考えを生み出そう	五年で習った漢字 4
一 読書で考えを深めよう	漢字のトランプ	未来社会を考える(パネルディスカッション)	6	1
13	2	(6)	6	1
考えたことについてさまざまな本を読み、考えをまとめて交流し合う。	漢字の画数をもとにした遊びをしながら、楽しく漢字を習得する。	話し手の意図をくみ取りながら聞いたり、聞き手によく伝わるようにくふうして話したりする。 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報に関連付けること。【話・聞(1)ア】話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 【伝国イ(ア)】	目的に応じて計画的に話し合い、お互いの考えを深め合う。	五年生で学習した漢字を使えるようにする。
テーマを設けて多くの本を読み、考えたことをポスターセッションの形で発表する。	トランプの数字代わりにするために、カードに漢字を書く。 漢字辞典を活用して、漢字の画数を確かめ、ゲームをしながら、楽しく漢字学習をする。	「未来社会を考える」(話し合い)を読んで、パネルディスカッションの進め方を理解する。 話題と進め方を決め、パネルディスカッションをする。 いろいろな立場に分かれて検討し合える話題を選んで、再度パネルディスカッションをする。 目的や場に応じた話し方や聞き方ができていたかを振り返る。 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。【話・聞(2)ア】 調べたことやまとめたことについて、討論などをする。【話・聞(2)イ】	パネルディスカッションという話し合いのしかたを知り、話題を選んで話し合う。	「学校」に関する言葉を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。
【関】「異文化理解」についての読書を交流し合って、考えを深め合う喜びを味わっている。	【関】友達と協力しながら、ゲームの用意やゲームを楽しんでいる。 【言】辞書などを活用して、漢字の画数を正しく調べている。	【話・聞】発表者の意図を理解できるように、メモを取りながら発表を聞き、自分の意見と比べて考えをまとめている。 【書】参考にしたい発言のしかたや聞き方についてまとめている。	【関】パネルディスカッションの準備に参加したり、パネルディスカッションで発言しようとしていたりしている。 【話・聞】司会者や発表者の話し方や、聞き手の聞き方などについて理解している。 【話・聞】発表の意図が聞き手にわかるように、発表の組み立て方や言葉づかいなどに注意しながら話をしている。 【話・聞】発表者の意図を理解できるように、メモを取りながら発表を聞き、自分の意見と比べて考えをまとめている。	【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。 【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。

<p>異なる文化との 出会い</p>	<p>外国の人と理解し合うために(説明文)</p>
<p>(1)</p>	<p>(5)</p>
<p>異文化や自文化を考えるために、読書をする態度を育てる。</p>	<p>筆者の論の進め方を押さえながら要旨をとらえる。 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。 <b>読(1)ア</b> 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。 <b>読(1)オ</b> 文章の中で語句と語句との関係を理解すること。 <b>伝国イ(オ)</b> 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。 <b>伝国イ(ケ)</b></p>
<p>言葉や食事など、外国の生活習慣を理解するために、いろいろな本を読むことについて話し合う。</p>	<p>自分の思ったことや考えたことが伝わるように音読する。 序論・本論・結論の内容をまとめ、筆者の説明のしかたのくふうを話し合う。 事実と意見を区別して読み取り、筆者の主張したいことを抜き書きしたり、まとめたりする。 外国の人と接する日本人を筆者がどのようにとらえているかを話し合う。</p>
<p>【話・聞】伝えたいことをはっきりとさせ、発表メモをもとに、構成や話し方を考えて発表している。 【話・聞】発表の意図をふまえて自分が気づいたことや考えたことを、進んで話し合っている。 【書】わかったことの中から、伝えたいことを選び、わかりやすくまとめている。 【読】説明文を読んで考えたことがわかるように音読している。 【読】序論・本論・結論のまとまりに分け、それぞれの内容を簡単に書いていく。 【読】筆者の主張したいことを抜き書きし、まとめている。 【読】説明文を読んで、思ったことや考えたことを発表し合い、考えを深めている。 【読】必要とする情報を探するために、複数の本を探して、比べながら読んでいく。</p>	

<p>和語・漢語・外来語</p>	<p>読書による異文化交流会をしよ う(ポスターセッ ション)</p>
<p>2</p>	<p>(7)</p>
<p>和語・漢語・外来語の違 いを理解し、それぞれの由来 に関心を持つ。</p>	<p>自分の課題について、必要 な情報を集めるために読書 をする。 調べたことをまとめ、資料 を提示しながら説明する。 発表会を通して、読書を交 流し合う喜びを知り、自分 の読書生活の幅を広げる。 考えたことや伝えたいこと などから話題を決め、収集 した知識や情報を関連付け ること。【話・聞(1)ア】 引用したり、図表やグラフ などを用いたりして、自分 の考えが伝わるように書く こと。【書(1)エ】 書いたものを発表し合い、 表現の仕方に着目して助言 し合うこと。【書(1)カ】 話し言葉と書き言葉との違 いに気付くこと。 【伝(1)ア】</p>
<p>和語・漢語・外来語につい て、それぞれの由来をまと め、言葉の使い方について話 し合う。 和語・漢語・外来語につい て、似た意味を表す言葉の 使い方や感じの違いを考 える。</p>	<p>異文化と自文化を比べて発表 する計画を立てる。 調べてみたいテーマに分かれ 、情報を集める。 調べてわかったことをポス ターに表し、発表メモを作 る。 各々が発表を行い、全体を 通して気づいたことや考え たことを話し合う。 自分の気づいたことや考え たことを二百字程度の作文 に書く。 資料を提示しながら説明や 報告をしたり、それらを聞 いて助言や提案をしたりす ること。【話・聞(2)ア】 自分の課題を解決するために 、意見を述べた文章や解説 の文章などを利用すること。 【読(2)イ】 本を読んで推薦の文章を書 くこと。 【読(2)エ】</p>
<p>【関】和語・漢語・外来語の 由来や性質に興味を持ち、 例を探そうとしている。 【言】教科書に示されている 和語・漢語・外来語の由来 について、ノートに整理し ている。 【言】教科書の例の語感や 使われ方の違いを考え、 発表している。</p>	

<p>五年で習った漢字 5</p>	<p>11 二 読み取ったことについて自分の意見をもとつ</p>	<p>愛を運ぶ人マザー＝テレサ（伝記）</p>
<p>1</p>	<p>9</p>	<p>(4)</p>
<p>五年で学習した漢字を使用するようにする。</p>	<p>文章を読んで感じたことや考えたことについて、方法をくふうして読み深める。</p>	<p>マザー＝テレサの生きる姿を読み取り、人間としてのすばらしい生き方について、自分の考えを持つ。 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。<b>読(1)ア</b> 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。<b>読(1)オ</b> 文章の中の語句と語句との関係を理解すること。<b>伝国イ(オ)</b> 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。<b>伝国イ(ケ)</b></p>
<p>「健康や運動」に関する言葉を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。</p>	<p>伝記を読んで考えを深め、ブックトークやポスターセッションなどの方法をくふうして発表する。</p>	<p>全文を読んで、マザー＝テレサの一生を年齢にそって、表にまとめる。 マザー＝テレサの考え方や生き方のすばらしさについて、場面に着目して話し合つ。 マザー＝テレサの考えていた「愛」「幸せ」について、自分の考えや生き方と重ね合わせて感想文を書いて発表する。 <b>読(2)ア</b> 伝記を読み、自分の生き方について考えること。</p>
<p>【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。 【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>【関】伝記を読んだことをもとに、自分でやってみたいことを選んで、学習を進めようとしている。 【話・聞】調べたことを、聞き手にわかりやすく発表している。</p>	<p>【書】資料を集めて、聞き手を意識した発表原稿を、自分なりにくふうして書いている。 【読】年齢に沿って、でき事を表にまとめている。 【読】テレサの生き方や考え方を、叙述に即してとらえている。 【読】テレサの考え方について、自分の考えや生き方と重ね合わせて、自分なりに感想文が書けている。 【読】発表するために、複数の本や文章を比べて読んで調べている。</p>

<p>伝記から生き方を見つめよう</p>	<p>(5)</p>
<p>「愛を運ぶ人 マザー・テレサ」の学習をもとに、人間の生き方について考え、自分の選んだ方法で表現し、自分の生き方を考える。考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けること。<b>話・聞(1)ア</b> 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。<b>書(1)エ</b> 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。<b>書(1)カ</b></p>	<p>三つの方法例を読んで、自分がしたい方法を選ぶ。 それぞれの方法で発表するため、情報を集めたり、文章に書いたりして、発表の準備や練習をする。 学習したことを発表し、人間の生き方についての考えを交流する。 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。<b>話・聞(2)ア</b> 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。<b>話・聞(2)ウ</b> 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。<b>書(2)イ</b> 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。<b>書(2)ウ</b> 伝記を読み、自分の生き方について考えること。<b>読(2)ア</b> 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。<b>読(2)イ</b></p>

12			
三 身につけた言葉振り返る	五年で習った漢字 6	言葉を増やす	て 時空をこえ
7	1	1	3
身の回りの言葉を集め、言葉の役割やはたらきに関心を持つ。	五年生で学習した漢字を伝えるようにする。	特別な読み方をする言葉や送り仮名を省く言葉について理解し、正しい使い方ができるようにする。	挿絵を手がかりに、時代や世界を超えた旅を想像し、物語を作って発表する。 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 <b>伝国イ(7)</b>
思い出と結び付いた言葉を集めて辞典を作る。	「交通や安全」に関する言葉を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。	特別な読みの言葉や送り仮名を省く言葉について、辞書を活用して調べたり、例文を作ったりする。	挿絵をもとに、どんな時代、どんな世界について表しているかを話し合う。 物語の例と「未知の世界への旅」を読んで、どんな世界の旅をしたいかを話し合う。 自分が旅したい時代や世界について調べ、想像力をはたらかせて、物語を作る。 できあがった物語を発表し合い、表現のしかたについて感想を述べたり助言をしたりする。 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 <b>話・聞(2)ア</b> 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること。 <b>書(2)ア</b>
【関】思い出を振り返って言葉を集め、周りの人と協力しながら、進んで辞典作りに取り組んでいる。	【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。 【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。	【関】特別な読みの言葉や送り仮名を省く言葉があることに興味を持って学習を進めている。 【言】特別な読みの言葉や送り仮名を省く言葉について、ノートに視写して確かめている。	【関】絵を見て、楽しく想像をふくらませようとしている。 【話・聞】想像したことを、筋道を立てて、聞き手にわかるように話している。 【書】想像したことをもとに物語を書いている。 【書】作品を発表し合い、助言し合っている。

1	春に(詩)	漢語の組み立て	「思い出辞典」を作ろう
1	1	2	(7)
<p>音読を繰り返し、詩の世界に表現された「ぼくの気持ち」について読み味わう。自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。<b>読(1)ア</b></p> <p>比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。<b>伝国イ(ウ)</b></p>	<p>漢字二字以上の熟語の構成を理解し、漢字の特質について関心を高める。</p>	<p>小学校生活の思い出に残る「言葉」を選び、説明を書いて辞典を作ることを通して、言葉に対する関心を深める。</p> <p>書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。<b>書(1)カ</b></p> <p>話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。<b>伝国イ(ア)</b></p>	
<p>「春に」という詩の題名について、思ったこと感じたことを話し合う。詩を繰り返し音読し、自分の心情と重なる部分を見つけて話し合う。</p> <p>反復の表現のくふうについて考える。</p>	<p>例示された言葉の意味を調べながら、熟語の構成のしかたを理解する。熟語を集め、構成のしかたごとに分類する。</p>	<p>小学校生活を振り返り、思い出を表す言葉を集め、「思い出辞典」を作る計画を立てる。どんな辞典にするかを決めるために、テーマ、言葉の数、形式などについて話し合う。辞典に載せる言葉を決めて、説明を書く。説明の文章を読み合って整え、辞典の形にあげる。</p> <p>辞典に載っている言葉を題材にして、小学校生活の思い出を話し合う。</p> <p>作った「思い出辞典」は、学校図書館などに置くようにする。</p> <p>自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。<b>読(2)イ</b></p>	
<p>【関】詩を読んで、感じたことを発表している。</p> <p>【読】詩を読んで感じたことが伝わるように音読や朗読をしている。</p> <p>【読】対比表現に着目して、心情をとらえている。</p> <p>【言】反復の表現の効果について気づいている。</p>	<p>【関】進んで、わかったことを発言したり、練習問題に取り組んだりしている。</p> <p>【言】漢語の組み立てを正しく分類してノートにまとめている。</p>	<p>【話・聞】話し合いの意図に沿って、自分の意見を話している。</p> <p>【書】適切な言葉を使って、引用を用いたり、自分の経験と結び付けたりするなどして、わかりやすく説明の文章を書いている。</p> <p>【書】作った辞典をみんな読んで交流し合っている。</p> <p>【言】いろいろな辞典の言葉の選択や配列を理解している。</p>	

<p>五年で習った漢字 7</p>	<p>四 言葉の文化を受けつこう</p>	<p>落語の招待席</p>
<p>1</p>	<p>15</p>	<p>(5)</p>
<p>五年生で学習した漢字を使えるようにする。</p>	<p>落語という話芸に見られる表現のくふうを知り、言葉の文化に関心を持つ。</p>	<p>文章の内容を的確に読み取り、笑いの文化の奥深さを理解し、言葉の文化への関心を深める。  <b>自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。</b>  <b>【読(1)ア】</b>      本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。  <b>【読(1)オ】</b>      古典について解説した文章を読み、昔の人のものの方や感じ方を知ること。  <b>【伝国ア(イ)】</b>      文章の中の語句と語句との関係を理解すること。  <b>【伝国イ(オ)】</b>      比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。  <b>【伝国イ(ケ)】</b></p>
<p>「暮らし」に関する言葉を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。</p>	<p>「語り」が言葉の文化であることを理解して、自分でも話芸に取り組み、さまざまな伝統文化に親しむ。</p>	<p>落語について知っていることを話し合つ。      全文を読んで、「落語の話術」などを読み取り、ノートにまとめる。      「崇徳院」という落語のせりふの部分を読み取る。      笑いの文化の奥深さについて、自分の考えをノートにまとめて話し合つ。</p>
<p>【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。      【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>【関】落語、狂言、文楽の大体の内容を理解し、興味を持っている。      【関】自分の役割を果たし、班の友達と協力して活動しようとしている。      【話・聞】聞き手を意識し、構成や表現をくふうして語っている。      【話・聞】友達の語りをしっかりと聞き、楽しんでいる。</p>	<p>【読】落語の話術とサゲについて、ノートなどにまとめている。      【読】筆者の願いを読み取り、それに対する自分の考えを書いている。      【読】調べるために、複数の本や文章を探して読み比べている。      【言】狂言や文楽などの伝統芸能について興味・関心を深めている。</p>

<p>待 伝統芸能への招</p>	<p>2 語りになよう戦 しよう</p>
<p>(2)</p>	<p>(8)</p>
<p>能・狂言・歌舞伎・文楽などに親しみ、日本の伝統文化をたいせつにする気持ち を育てる。 古典について解説した文章 を読み、昔の人のものの方 や感じ方を知ること。 <b>伝国ア(イ)</b></p>	<p>班で話し合って、楽しんで 聞いてもらえるような構成 や表現をくふうして語りを 作り上げ、発表する。 いろいろな語りに挑戦し、 小学校生活のしあげとす る。 考えたことや伝えたいこと などから話題を決め、収集 した知識や情報を関連付け ること。<b>話・聞(1)ア</b> 親しみやすい古文や漢文、 近代以降の文語調の文章に ついて、内容の大体を知り、 音読すること。 <b>伝国ア(ア)</b> 古典について解説した文章 を読み、昔の人のものの方 や感じ方を知ること。 <b>伝国ア(イ)</b> 話し言葉と書き言葉との違 いに気付くこと。 <b>伝国イ(ア)</b></p>
<p>文章を読んで、能・狂言・歌舞伎・文楽な どの伝統芸能の特長を知る。 伝統芸能を鑑賞した経験を話し合い、伝統 を守り育ててきた人々の努力やくふうにつ いて考える。</p>	<p>教科書の例を読んで、「語りの会」を開く計 画をする。 班ごとに、どんな内容にするかを決める。 それぞれの班の内容にそって練習する。 発表会の準備や案内を整え、発表会を開く。 自分の課題を解決するために、意見を述べ た文章や解説の文章などを利用すること。 <b>読(2)イ</b></p>

<p>3</p> <p>五 自分の力を確かめよう</p>	<p>五年で習った漢字 8</p>	<p>漢字の熟語作り</p>	<p>相手を尊重した言葉づかい</p>
<p>12</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>2</p>
<p>六年生の間に身につけた国語の力を生かして、自分で学習を進めるとともに、一年間の学習を振り返り、自分の力を確かめ、中学校へ向けての学習意欲を持つ。</p>	<p>五年生で学習した漢字を伝えるようにする</p>	<p>漢字二字を組み合わせて熟語を作るゲームを通して、楽しく漢字を習得する。</p>	<p>文末表現の違いを比べ、はたらきや表現効果を確かめる。 話し手や書き手の意図が伝わるように文末表現を使い分ける。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。 <b>伝国イ(1)</b></p>
<p>学習の手引きを参考に自分の学習計画を立て、学習に取り組んだ後、本単元の学習を確かめるとともに、この一年間の学習を振り返って自己評価をする。</p>	<p>「人」に関する言葉を書いたり、集めたり、文を作ったりして、五年生の漢字に習熟する。</p>	<p>二字の熟語を作るゲームのしかたを知る。辞書を活用したりルールをくふうしたりして熟語を作り、ゲームを楽しむ。</p>	<p>四つの文末表現の違いを比べて、そのはたらきや表現効果について話し合う。 各自の日常生活の中で、相手や場にふさわしい文末の言葉を使っている例を調べる。</p>
<p>【関】手引きを参考に、学習課題を考え、学習計画を立てて学習を進めている。 【話・聞】「二十一世紀に生きる君たちへ」を読んだ考えたことを、聞く人に伝わるようにスピーチしている。 【話・聞】聞く人が聞き取りやすいように、</p>	<p>【関】漢字を書く学習に進んで取り組んでいる。 【言】漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>【関】辞書で調べたりしながら、ゲームを楽しんでいる。 【言】熟語が作れる漢字を一生懸命に探そうとしている。</p>	<p>【関】自分の日常生活の中から、文末表現を使い分けている例を思い出している。 【言】文末表現のはたらきや表現効果の違いについて、わかったことを書いていく。</p>

<p>二十一世紀に生きる君たちへ(論説文)</p>	<p>(12)</p>
<p>論説文を読んで、文章の内容をつかむ。 自分の学習課題を作り、自分の力で課題解決に取り組む。 学習したことを友達と交流する。 学習の結果を自己評価し、中学校での学習目標を持つ。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。<b>書(1)エ</b> 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。<b>書(1)カ</b> 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。<b>読(1)ア</b> 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。<b>読(1)オ</b> 文章の中の語句と語句との関係を理解すること。<b>伝国イ(オ)</b> 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。<b>伝国イ(ケ)</b></p>	<p>教材文を読み、おおまかな内容をとらえ、学習課題を作る。 課題を解決するために、自分の力で学習を進める。 学習の結果を発表したり、交流したりする。 自分の力で学習したことを振り返り、確かなめの手引きの評価項目ごとに自己評価する。 上巻と下巻の巻頭折り込み「学習の記録を残そう」をもとにして、一年間の学習を振り返る。 これまでの国語の学習を思い出し、一年間のできるようになったことや、中学生になってやってみたいことを書く。</p>
<p>筋道立てて話している。 【話・聞】友達の考えを聞いて、それに対する自分の感想や考えを話している。 【書】自分の意見がわかるように書いている。 【書】過去の自分と今の自分を比べて、成長したことを具体的に書いている。 【読】「二十一世紀に生きる君たちへ」を読んで考えたことが、聞き手に伝わるように音読している。 【読】序論・本論・結論の内容を整理して、筆者の考えをノートにまとめている。</p>	